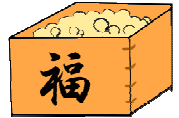


せいなんだより 2017年2月号



〒814-0002 福岡市早良区西新 3-12-14
Tel 092-846-9207 Fax 092-846-9208



早良区子どもプラザ／西南子どもプラザ(愛称“せいなん”)は、福岡市の委託を受けて西南学院大学が運営しています。

2月の予定

開館時間：午前10時～午後4時

日	月	火	水	木	金	土
			1 ふくろう先生 (12:30～14:30)	2 豆まき (10:45～11:00)	3	4 おとうさん、 きんしゃい!
5 休館日	6 休館日	7 なつめ先生 (10:30～11:30) たろうちゃん (13:30～16:00)	8 ふくろう先生 (12:30～14:30)	9 しんいち先生 (12:30～14:00)	10	11 読み聞かせ (わらべうた) 10:30～10:50 11:00～11:20
12 休館日	13	14 たろうちゃん (10:30～12:00)	15 保健師さん (10:30～12:00) ふくろう先生 (12:30～14:30)	16 International Day (10:00～12:00) しんいち先生 (12:30～14:00)	17	18
19 休館日	20	21 たろうちゃん (13:30～16:00)	22 ふくろう先生 (12:30～14:30)	23 ミニ講座 (10:30～11:30) しんいち先生 (12:30～14:00)	24	25 絵本タイム 10:30～10:50 11:00～11:20
26 休館日	27	28 たろうちゃん (13:30～16:00)				

*11日(建国記念日)も通常通り開館しています。

しんいち先生の「育児素人、父として格闘中」

2月ですね。1月は寒い日も多かったですし、小さい子どもたちの親としては、病気が気がかりな時期ですね。私事で恐縮ですが、うちの下の子が1歳の年の2月、上の子と下の子が交互に風邪をひき続けて、気がついたら2月が終わっていたあの大変さは忘れられません。そして、今年のが家の状況ですが、実は、やってしまいました。これを書いている今日、下の子がインフルエンザで休んでいます。病気の予防は、菌やウイルスをしっかりと落としてあげること、要はうがい、手洗いと聞きます。わが家も妻がかなりこまめに子どもに伝えてくれていますが、パーフェクトに菌やウイルスから逃げるということはできないですね。罹患してしまったわが家は、頑張っって耐性を付ける時間とするほかはないですが、罹らないに越したことはありません。子どもプラザでは、消毒については、来館の皆さま向けに入り口に置いている手指の消毒用のアルコールで、おもちゃ等には閉館後の消毒とお口に入れた際の消毒で対応しています。お口に入れたおもちゃについてはカウンター前のボックスで回収していますので、ご協力よろしくお願い致します。

2月初めまでは大学はとて慌ただしい時期です。2月の6日～10日は入試が行われます。入試期間中、利用者の皆さま・近隣の皆さまにはいつもと違う形でご迷惑をおかけすることもあるかも知れませんが、受験生が実力を発揮できるようご配慮を賜われれば幸いに存じます。

プラザ長を務めます田中慎一です。本学法学部で、商法、会社法を担当しています。2人の娘の父としても格闘中です。



お知らせ

- ◎2月2日(木)10:45頃より、豆まきを行います。豆の代わりに毛糸のポンポンを用意していますので、鬼退治に来てくださいね♪
- ◎「西南クロスプラザ」(学生食堂)は2月2日(木)～4月1日(土)まで営業時間が変更となります。営業時間は10:00～17:00です。

せいなんスタイル

寒い中、赤ちゃんが生まれ、お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に来館される方が増えてきました。2人目3人目が生まれ、上のお子さんへの対応、下のお子さんの世話、減る睡眠時間、増える育児家事の負担など、お母さんは心身ともにとっても大変！上のお子さんにとっても、下のお子さんの出現はとても複雑な思いがあるでしょう。赤ちゃん返りや反抗など、いろいろな形でその気持ちを表現します。上の子と二人だけの時間をとってしっかり関わったり、下の子より上の子の世話を優先するなど、あなたが大好き、あなたを見ているよ、と上のお子さんに言葉や態度で伝えてあげてくださいね。また、お父さんと協力しあったり、おじいちゃんおばあちゃん、ご近所の方にサポートしてもらおうなど、お母さん一人で頑張り過ぎないようにしましょう。

時折、お母さんが上のお子さんの相手をしている間、畳のコーナーで寝ている赤ちゃんを、他のお母さんがあやしてくださるのをおみかけします。また上のお子さんを自分のお子さんと一緒に遊んでくださる方もいらっしゃいます。さりげなく助けあったり、見守ったりする姿を見ると、ここに集う皆で一緒に子育てをしているようで、心が温かくなります。たくさんの人と関わって子どもたちが豊かに成長できるといいですね(*^_^*)



リレーコメント



今まで幼稚園の子ども達とあそび・生活をし、今小さな子ども達と毎週出合っている。「何でこんな小さな子が…」と相手をつき倒したり、髪を引っ張る姿に「何故」「いつ学んだの」と問い、答えを求め、まず私は代弁をしている。その姿はその子の『ことば』だから。子どもは日々新しいことに出会い、自分なりの受けとめで自分づくりをしている。子ども達のどんな姿も廻りの大人達は危険がない限り見守り、そのままを受けとめ代弁して欲しい。ある本に「子ども達は3歳までに人生の喜びのほとんどをプレゼントする」と書いてあった。子ども達の成長の喜びを『子どもプラザ』でも見つけてほしいと願っています。

(ボランティアスタッフ 河野 豊子)



ミニ講座

「わらべうたで 心ほんわり」

講師：おはなしラビット代表
富原 美智子さん

赤ちゃんのまわりには、機械を通した音が一日中あふれています。テンポの速い大きな音に慣れてしまうと、大人の生（なま）の声の魅力を知らずに育つのではないかと不安を感じます。

言葉を育てる基となる、人の生の声の心地よさを届けるわらべうたを楽しみ、言葉でコミュニケーションできる子どもを育てたいものです。

23日(木) 10:30~11:30

*ミニ講座は、内容や日時を変えて月1回行います。

～先月のミニ講座より～

管理栄養士・川野由美子さんに「体を作る食べ物の話」というテーマで、お話をさせていただきました。子どもの食事に悩みはつきもの…参加された皆さんは熱心に聞かれ、多くの質問が出ていました。赤ちゃんが大きくなるということは細胞が増えるということです。ビタミンやたんぱく質が大事になってきます。好きだからと同じ物ばかり与えていると、他の物を食べなくなり後でママが苦労することに…。色んな食品を少量ずつ、まんべんなく食べさせるように心がけましょう。また、早寝早起き、おやつ調節で（お菓子ではなくおにぎりや果物がおすすめ！）食事の前には空腹になる生活リズムを目指しましょう。ママのお楽しみの甘いおやつは見つからないようにこっそりどうぞ☆多離乳食の進め方については個別にスタッフまでお尋ねください。

☆プレママ・プレパパの訪問も随時歓迎します。お手数ですが、不審者対策のためプレママ・プレパパであることが確認できるもの（母子手帳など）をお持ちください。



西南子どもプラザ

検索



この“せいなんだより”は、前月下旬（25日頃）から“せいなん”で配布、また西南学院大学ホームページにも掲載しています。